

テーマ	関西の食文化	古典	
コア事業	・「KANSAI国際観光YEAR2013」	・「古典」～ゆかりの地を訪ねて	・記紀・万葉プロジェクト
実施主体	・「KANSAI国際観光YEAR2013」実行委員会	・古典の日推進委員会	・奈良県
具体的な取組	「関西の食文化」について、オール関西による強力なPR活動を実施 ・プロモーション事業(関西のグルメをキーワードに積極的な海外観光客誘致活動を実施) ・キャンペーン事業(関西への観光客誘致キャンペーン、食に関する情報提供を実施) ・食文化イベント事業(13'食博覧会で関西の食文化をアピール、食関連イベントを共通のロゴのもとに結集)	古典に親しみ、古典を日本の誇りとして後世に伝えるため、様々な文化活動を実施 ・シンポジウムの開催(時期・実施場所未定) ・「古典」ゆかりの地 ガイドブックの作成 ・各地の「古典」ゆかりの地を訪ねるツアー、スタンプラリーの実施 ・国内外からの観光誘客事業ツールの作成・活用	古事記、日本書紀、万葉集に代表される歴史素材を活用した施策を展開し、“本物の古代と出会い、本物を楽しめる奈良”を実現 ・「記紀・万葉」シンポジウムの開催(時期・実施場所未定) ・記紀・万葉ゆかりの地をめぐるウォークイベントの実施 ・「なら記紀・万葉名所図会」の発行 ・「なら記紀・万葉ホームページ」による情報発信

①はなやか関西～文化首都年～との適正

・テーマが、関西が誇る「本物」の文化であること	・関西は日本の文化の源泉であり、食についても独自の文化・名物が数多く存在。	・古くから都がおかれ、日本文化の源流といえる関西には、日本文化のルーツであり、中枢となっている古典文学の所縁の地が数多く存在。 ・古典芸能も関西発祥のものが多数を占める。 ・これらの古典は、日本人の美意識や生活習慣にも大きな影響。	
・関西ブランドの創造や地域づくり、ものづくり、人づくりに資すること	・特色ある「食」文化は、近畿各地に存在し、関西全域で、取組への参加が可能。 【参考】 和歌山県：めはりずし、金山寺味噌、南高梅 等 滋賀県：鮎ずし、日野菜漬け 等 三重県：松阪牛、的矢牡蠣 等 大阪府：こなもん、けつね、串カツ 等 兵庫県：松葉ガニ、播州素麺、出石そば、パン・洋菓子 等 京都府：公家料理、精進料理、おばんざい、京野菜、京漬け物 等 奈良県：茶粥、奈良漬、柿の葉寿司、三輪素麺 等 福井県：越前ガニ、鯖街道、へしこ、越前そば 等 徳島県：たらいうどん、鳴門鯛、鳴門金時 等 鳥取県：二十世紀梨、砂丘らっきょう 等	・古典の舞台となった地域は、近畿各地に存在し、関西全域で、取組への参加が可能。 【参考】 和歌山県：道成寺(歌舞伎・古典)、和歌浦(万葉集) 等 滋賀県：多賀神社(祭事)、義仲寺(俳句)、石山寺(蜻蛉日記) 等 三重県：松尾芭蕉(俳句)、伊勢物語(文学) 等 大阪府：生国魂神社(祭り)、井原西鶴(文学) 等 兵庫県：播州歌舞伎(伝統芸能)、平家物語(文学) 等 京都府：源氏物語(文学)、方丈記(文学) 等 奈良県：古事記(文学)、万葉集(文学) 等 福井県：近松門左衛門(文学) 等 徳島県：阿波踊り、人形浄瑠璃(伝統芸能) 等 鳥取県：因幡の白兔(神話) 等	
・コア事業が、テーマを代表するプログラムとして妥当であること	・「KANSAI国際観光YEAR2013」は、日本の食文化の原型を創造し、発展させてきた関西の多様で豊かな食文化をテーマとして、産官学のオール関西が一体となって強力なPR活動を行い、kansaiブランドを浸透させる取組であり、テーマ「関西の食文化」を代表するにふさわしいプログラムといえる。	・「古典の日」は、古典についての関心と理解を深めことを目的に、日本を代表する古典文学である源氏物語成立千年を契機に定められ、平成24年には法制化されたところであり、「古典の日」に基づく取組は、テーマ「古典」を代表するにふさわしいプログラムといえる。	・日本に現存する最古の和歌集である「万葉集」や日本最古の歴史書「古事記」、日本最古の正史「日本書紀」を活用した「記紀・万葉プロジェクト」は、テーマ「古典」を代表するにふさわしいプログラムといえる。
・「はなやか関西～文化首都年～」の実施者としての適性があること	・「KANSAI国際観光YEAR2013」実行委員会は、関西広域連合、関西経済連合会等の経済団体、学識経験者等から構成されており、実施者として適性を有する。	・実施者である古典の日推進委員会は、京都府、京都市をはじめ京都府における観光関係者や経済団体等により組織され、平成21年から様々な文化活動を行っており、実施者として適性を有する。 ・実施者は奈良県であり、実施者としての適性を有する。	

②「はなやか関西～文化首都年～」としての展開イメージ

	・「KANSAI国際観光YEAR2013」実行委員会による取組を支援 (はなやか関西～文化首都年～としては、実行委員会を組成せず、「KANSAI国際観光YEAR2013」の後援及び個別取組に対する支援となる)	・はなやか関西～文化首都年～にて実行委員会を組成し運営、取組内容を決定 ・コア事業も含め、関西全体における古典ゆかりのイベント、団体、場所、人等について - 関西全体でのプロモーション(ガイドブック、リーフレットの作成、HP、フェイスブック等の立ち上げ) - ツアー(スタンプラリー、ウォークイベント)、フォーラムの検討 - その他新たな取組を検討 ※「古典」がテーマとなった場合にも、「食文化」との連携について検討が必要。 ※「古典」といっても、古典文学、芸能、音楽と多岐に渡るため、地域バランスを考慮しつつ、どこに重心を置くか検討が必要。	
--	---	---	--